

トピックス (主な内容)

- 特集記事：P1～P2
今さら聞けない!?
クレジット・デビット・プリペイドカード決済の基本
- 特集記事：P3
QRコード(バーコード)決済がカギ!? 最近急増しているモバイル(スマホ)決済「Pay(ペイ)サービス」とは?

特集記事

今さら聞けない!?

クレジット・デビット・プリペイドカード決済の基本

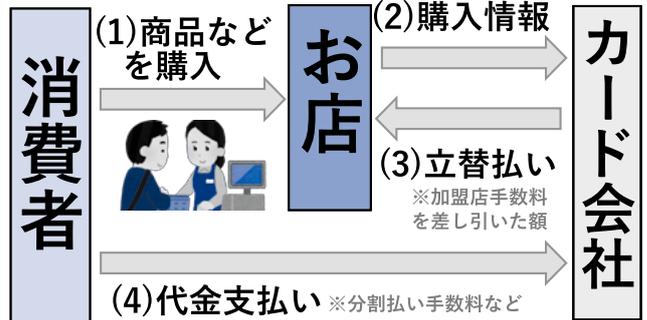
東京オリンピックが近づき、利便性の向上に向けてキャッシュレス化が進行しています。

今回は、カード加盟店で使用できるクレジットカード、デビットカード、プリペイドカードについて、決済方法の仕組みと注意点をまとめました。

カードの種類	決済のタイミング	発行の条件など
クレジットカード	事後払い	事前審査が必要
デビットカード	即時払い	審査不要が多い(銀行口座開設と同時など)
プリペイドカード	事前払い	無審査、口座不要が多い

クレジットカード決済の仕組み

- (1)消費者がクレジットカードで商品を購入
- (2)カード利用の情報がカード会社へ届く
- (3)カード会社はお店に購入代金を立替払いする(実際には加盟店手数料を差し引いた額を支払われる)
- (4)消費者からカード会社へ、口座引き落としなどで支払われる
(分割払い/リボ払いの場合は手数料あり)



上記は基本的な流れですが、現状は小売店やインターネット通販サイトなどは、各カード会社とそれぞれ手続きやシステム構築などで多大な手間が必要になるため、お店とカード会社との間を一括して取り持つ「決済代行業者」が入る場合が多くなっています。

分割払いやリボ払い(毎月決まった額を返済)は手数料がかかります。申込時に自動的に設定されているクレジットカードもあるため、契約内容をよく確認しましょう!

デビットカードとは?

デビットカードとは、預金口座と紐付けられた決済用カードで、金融機関(一般的に銀行)が発行し、このカードで決済すると代金が即時に口座から引き落とされる仕組みです。

銀行のキャッシュカードそのものを決済手段として利用するタイプのもと、別途デビット決済専用カードを発行するタイプのものがあります。

ただし銀行のキャッシュカードでも、デビット機能が搭載されているカードとそうでないカード、また店舗側でもデビットカード払いができる店と出来ない店があるため注意が必要です。

カードの例



カードの種類	特徴	利用できる加盟店数
Jデビット	日本独自で発展してきたサービス	全国約45万カ所
国際ブランドデビット	VISAやJCBなど、国際ブランドのロゴマークがついたカード	VISA加盟店、JCB加盟店など(ただしデビット利用できない店舗もあり)

プリペイドカードとは？

プリペイドカードとは、事前に代金を支払って購入し、残金がゼロになるまで使用できるカードのことです。日本で初めに広く使用されたと考えられるのは「テレフォンカード」で、近年では「Suica」「PASMO」など交通系カードが代表的ですが、プリペイドカードは私たちの身近なところにさまざまな種類があり、日々新しいサービスが生まれています。また、中には物理的なカードが発行されず「カード番号」「有効期限」などの情報のみ通知され、インターネット上で取引が完結するものもあります。

国際ブランド（VISAやJCB等）のプリペイドカードを以下にまとめました。

主な用途	国際ブランドのついたプリペイカード例	主な特徴・利用方法
携帯電話など通信キャリア向け	<ul style="list-style-type: none"> au WALLEET (AU) Softbank Card (ソフトバンク) dカードプリペイド (ドコモ) 	事前にアプリやウェブから、現金や貯まったポイントをチャージして使用
インターネットやコンビニ利用者向け	<ul style="list-style-type: none"> Vプリカ (VISA) バンドルカード (VISA) LINE Payカード (JCB) 	事前にアプリやウェブ、コンビニなどからチャージして使用。送金にも便利。
海外旅行者・海外留学生向け	<ul style="list-style-type: none"> マネーティグローバル (Money T Global) ネオマネー (Neo Money) マネパカード (Manepa Card) キャッシュパスポート (Cash Passport) 	<ul style="list-style-type: none"> 外国の通貨をチャージし海外で利用ができる 海外の複数通貨に対応している場合も



国際ブランドカードのクレジット・デビット・プリペイドカードは見た目が似ている！

国際ブランドカードの仕組みは、クレジット方式・デビット方式、プリペイド方式にかかわらず共通で、この3方式いずれも共通の決済端末や決済ネットワークを通じて処理されます。国際ブランドのカードかどうかは、下記のロゴマークがついているかどうかで判断できます。

カードの見た目がとても似ているので見間違えのトラブルに注意！



他にも国際ブランドの付加有無を問わず、プリペイド（前払い式）カードは多く存在します。

種類	主な利用シーン	プリペイドカード例
ギフトカード系	主にインターネットサービスやネット通販で使用 (サーバー型)	<ul style="list-style-type: none"> アマゾンギフトカード iTunesギフトカード Google Playギフトカード ニンテンドープリペイド
	主に実店舗の買い物に使用 (磁気カード型)	<ul style="list-style-type: none"> 百貨店/大手雑貨屋などのギフトカード カフェ店のギフトカード 図書カード
お買い物系	系列やグループの実店舗やネット通販サイトの買い物に使用	<ul style="list-style-type: none"> nanacoカード waonカード 楽天Edyなど ※最近では国際ブランドカードに付帯しているケースも
交通系	鉄道やバスの交通運賃の支払い	<ul style="list-style-type: none"> Suica PASMO ICOCA

相談事例

気を付けて！カード番号の入力は慎重に！

●パソコンを使用中に突然警告表示が出て、「セキュリティが脅威にさらされている。セキュリティソフトをダウンロードするように」とあったので、クレジットカード番号を入力してしまった。後で詐欺だと分かったが入力したカード番号が流出しないか心配だ。

●SNSの広告に貼られたURLからブランドサングラスのサイトを見つけ、格安だったので購入手続きをしようとクレジットカード番号を入力したが、詐欺サイトだった。

キャンセルしたがカード情報を知られているので不安。



センターからのアドバイス！

残念ながら、サイトに入力して流出したクレジットカード番号などの個人情報を取り戻すことができません。

気づいた時点ですぐにカード会社に連絡して指示を仰ぎましょう。

クレジットカード番号などの入力を求められたら、信頼できるサイトかどうか、公式ホームページを再検索するなどしてきちんと確認してから入力するようにしましょう！

QRコード(バーコード)決済がカギ!? 最近急増している

モバイル(スマホ)決済 「Pay(ペイ)サービス」とは?

キャッシュレスといえば、カードではありません。近年サービスを拡大させているのがスマートフォンなどの携帯端末を使って支払いができるモバイル決済サービスです。

利用者は店舗のリーダーに携帯をかざすだけで代金の支払いができます。もともとは10年ほど前に「おサイフケータイ」など、専用チップが入っている携帯端末のみで使用できるサービスでしたが、スマートフォンが普及してからは、専用アプリをダウンロードするだけで気軽に使用できるようになり、更には大手SNSや通販サイトのアカウントさえ持っていれば新規登録の手間なく利用できるようになるなど、裾野が広がっています。

また、クレジットカードを持っていなくても、コンビニからチャージしてプリペイドカードのように使用できるサービスもあります。

今回は、アプリをダウンロードして利用する決済サービスについて紹介します。

Pay サービスの使い方例

- (1)専用アプリをスマートフォンにダウンロードする。
- (2)アプリを開き、氏名やクレジットカード番号などの情報を登録する。
(カード情報や口座情報が不要で現金をコンビニ等で事前チャージして使用できるサービスや、すでに利用している大手SNSや通販サイトなど、既存のアカウントがある場合は新規登録が不要な場合もある)
- (3)レジでスマートフォンのアプリからコード画面を出して、店舗側がそれを読み込み決済する。
または店頭レジ画面などに掲載されたコードをスマートフォンで読み込んで決済する。

※スマートフォンによっては対応していない機種もあります。



サービス例

- ・LINE Pay
- ・楽天ペイ
- ・Amazon Pay
- ・d払い
- ・Yahooスマホ決済
- ・Pay Pay
- ・PAYMO
- ・Origami Pay
- ・Google Pay (旧:Android Pay)
- ・Apple Pay



モバイル決済を利用するメリットとして、カードと同様、財布を取り出して現金を数えるという物理的な煩わしさがなくなること、ポイント還元や割引など特典がある、購入履歴が管理できるなどのほか、ロックをかけていればカードのように紛失や盗難時にすぐに使用されにくいなどがあげられます。また、よく使用するSNSや通販サイトのサービスであれば、新規登録が不要です。

デメリットとしては、スマートフォンの充電切れやキャリア回線トラブル等により使用できなくなったり、この決済方法に対応している店舗やコンビニがまだ少ないことがあげられます。

セキュリティ面については、物理カードも同様ですが、不正利用のリスクはあります。しかし大手サイトや企業がすでに所持しているシステム基盤を利用しているサービスであれば、一定のセキュリティ対策はされている可能性も高いと考える見方もあります。



日本ではまだメジャーとは言えないモバイル決済ですが、中国など海外では急速に広がりを見せており、日本でも新規参入がめまぐるしい分野です。日本政府がキャッシュレスを後押しするなど、様々な決済方法の対応店舗が増え拡大する一方、新たな問題が出てくる可能性もあります。今後の動向に注目しながら、かしく利用しましょう。

5月は消費者月間

昭和63年から毎年5月を「消費者月間」とし、消費者、事業者、行政が一体となって、消費者問題に関する教育・啓発等の事業を集中的に行っています。

消費者庁では、2019年度の消費者月間の統一のテーマを、

「ともに築こう 豊かな消費社会 ～誰一人取り残さない2019～」と掲げました。

詳しくは同庁のホームページでご確認ください。



開催日	テーマ	講師	定員
5月31日(金) 13:30~15:30 (開場・受付13:00)	《都筑区役所共催》 高齢者専用ホームの基礎知識 ～公的・民間施設の違いとチェックポイント～	介護コンサルタント 中村 寿美子	80名
参加費無料	【会場】都筑区役所 6階 会議室(都筑区茅ヶ崎中央32-1) 【対象】横浜市在住・在勤・在学の方 経験と調査に基づく第一人者が解説 【交通】市営地下鉄「センター南」駅下車 徒歩約6分 バス停「センター南駅」「都筑区総合庁舎」下車 徒歩約5分		
6月25日(火) 13:30~15:30 (開場・受付13:00)	《磯子区役所共催》 インターネット・スマホ (携帯電話)の落とし穴 ～サイト・メール・広告に潜む素顔なき悪意～	特定非営利活動法人 NPO情報セキュリティ フォーラム 専任講師 廣瀬 由美	300名
参加費無料	【会場】磯子公会堂 ホール(磯子区磯子3-5-1 磯子区総合庁舎内) 【対象】横浜市在住・在勤・在学の方 具体的な事例・未然防止方法もご紹介 【交通】JR京浜東北根岸線「磯子」駅下車 徒歩約5分 市営・京急バス停「磯子区総合庁舎前」下車		
7月26日(金) 13:30~15:30 (開場・受付13:00)	《青葉区役所共催》 インターネット・スマホ (携帯電話)の落とし穴 ～サイト・メール・広告に潜む素顔なき悪意～	特定営利活動法人 NPO情報セキュリティ フォーラム 専任講師 廣瀬 由美	80名
参加費無料	【会場】青葉区役所 4階・大会議室(青葉区市ケ尾町31-4) 【対象】横浜市在住・在勤・在学の方 【交通】東急田園都市線「市が尾駅」下車 徒歩約8分 バス停「青葉区総合庁舎」下車 徒歩約1分		
【申込方法】事前の申込みは不要です。当日、直接会場にお越しください。先着順です。 【手話通訳】ご希望の方は、開催日3週間前までに下記までご連絡ください。 【問合せ先】「消費生活教室」担当 TEL.845-5640 FAX.845-7720			



貸し会議室のご案内 ～地下鉄・京急「上大岡」駅直結～

消費者団体のほか、グループなどの学習会、研修会にご利用いただけます。

【利用単位】 3時間(土曜日午後のみ4時間)

【申込み】 利用月3か月前の1日午前9時から受付開始
(初日が休館日にあたるときは翌開館日)

※7/1以降は申込方法が変わります。詳しくはお問い合わせ下さい。

【休館日】 日曜日、祝日、休日、年末年始(12/29～1/3)

【問合せ先】 展示・情報資料室 TEL.845-6604 FAX.845-7720

ホームページ https://www.yokohama-consumer.or.jp/info/conference_room.html

〈利用時間と料金〉

区分	会議室1・会議室2 (定員各36名)			会議室3 (定員各66名)		
	午前	午後①	午後②	午前	午後①	午後②
平日	9:00~12:00 1,000円	13:00~16:00 1,000円	16:00~19:00 2,000円	9:00~12:00 2,000円	13:00~16:00 2,000円	16:00~19:00 3,000円
土曜日	1,000円	2,000円*	—	2,400円	3,200円*	—

*土曜日のみ17:00まで



物価に関する
問合せは

◎県物価ダイヤル 県消費生活課 企画グループ TEL.312-1121(代)

◎総務省統計局 消費者物価指数 <http://www.stat.go.jp/data/cpi/sokuhou/tsuki/index-z.htm>



横浜市消費生活総合センター

〒233-0002 横浜市港南区上大岡西 1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー 4F・5F TEL.045-845-5640 FAX.045-845-7720

作成：公益財団法人横浜市消費者協会(指定管理者) 発行日：4月25日

ホームページ <https://www.yokohama-consumer.or.jp> ツイッター @yokohamasyouhi



QRコード